

第17回神戸女学院大学 絵本翻訳コンクール  
優秀賞  
加藤学園暁秀高等学校3年  
竹内 凜さん

『じっとして、いのち』

じっとして いのち  
じっとして

いけのみずが しずかなように  
ほら さかなが およいでる  
くものあいだを  
はっぱのあいだを！

すやすやすや……

じっとして  
おひさまのしたで  
すやすやねむる  
ちいさな かたつむりみたいに

すると かげが  
ずっと なが〜〜〜く……  
(あれれ、ながくなりすぎちゃった！)

みて みて！  
あの たかいくさのなか  
なにかが うごいてるよ。

じーっとして ゆっくり ゆっくり——  
はやく うごいちゃ だめだよ。

ほら！  
すいれんの はっぱから  
かげが するっと はなれたの  
みえた？

あっ！  
オレンジいろの ちいさなスケートぐつを  
はいた はずかしがりやの  
ちいさな カメさん！

カメって スケートできるの？

もちろん！  
とっても じょうずなんだ。

でも スピードスケートの  
きょうそうじゃ  
かてないかもね！

こんにちは

やあ！

こんどは みあげて  
きの はっぱを みてみよう。

そよそよ ふくかぜに  
ゆれているのが みえる？

はっぱが うごくおと  
きこえるかな？

えだから はなれていく  
はっぱのおとも きこえる？

わ~~~~~い！

じゃあ はっぱのむこうに  
ひろがる そらは どうかな？

もしも そらが うたをうたったら  
どんな うたを うたうとおもう？

ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド

じっとして いのち  
じっとして

うつわの くだものみたいに。

すると きこえてくるかも  
なつの しゃきしゃきリンゴの  
ふんふん はなうた。

そこへ ナシも くわわって  
ぺちやくちゃ おしゃべり！

バナナだって  
うたが とっても じょうずだよ。

きいろや オレンジ  
ピンクに あおまで！  
あま〜い うたを うたうんだ！

しーーーーっ  
いのち じっと しずかに  
ねずみみたいに……

すると きこえてくるかも  
とん とん とことこ  
ちいさな ねずみの  
おどる あしおとが

おうちを ぬけて  
おそとまで！

すやすやすや……

じっとして いのち  
じっとして  
ねむっている からだみたいに。

すると しんぞうが  
うごいているのを かんじるよ。

しんぞうは ずっと おきていて――

どくん どくん  
どくん どくん！

じゃあ こんどは  
「なにもないおと」も きこえるかな？

しーんと しずかな そのなかに  
なにかが いるよ。

それって……きみかな？

じっとして いのち  
じっとして

あさが はじまるころ。

あさの うたに  
みみを すませば  
おひさまの ひかりを  
かんじるよ。

こんどは ちょっと たちどまって  
くんくん してみよう。  
どんな においが する？

この えほんの ページのにおい？  
それとも いぬの くちびるのにおい？

いぬの くちびる？！

こんにちは！

いぬにとっては  
どの においも みんな とくべつ。

だから まちで であっても  
においで きみだと わかるんだ。

きみは どんな においかな？

はるになったら  
ざあざあ ふる  
あめのにおいが するかな？

まいあさ めをさます  
おはなたちの においも するかな？

あま〜く ゆっくり いのち  
はちみつみたいに。

そうすれば  
はちさんが ひざで